

## インターバンクの声（2015年10月13日）

昨日はアジア時間では日本市場が「体育の日」の祝日の為に休場、海外時間でも米国市場が「コロンブスデー」の祝日で為替と債券市場が休場となり、市場の材料に対していつも通りに反応するには難しい一日だった。その点を割り引いて考えなければならないが、開いていた米国株式市場は、朝から原油価格が下落していたことでエネルギー株が軟調だったものの、ダウ平均は7営業日連続の上昇となった。ただ、為替・債券市場は休場で、翌日から米企業の7-9月期の決算発表が本格化するとあって、昨日の薄商いの中での株価上昇に対して単純にドルを買う訳にはいかなかったのだろう。もっとも、11日のフィッシャーFRB副議長の「(年内の利上げは)見通しであって約束ではない」との発言や昨日のブレーナードFRB理事の「世界経済の減速や中国の混乱などの国際的なリスクが米経済の足かせとならないことが明確になるまで利上げを見送るべき」との考えを示したことが強く影響したのかも知れない。豪ドルなどは先月末と比べれば随分変化してきており、ドル円もどこかのタイミングで急に動き始めることには注意しておきたい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。